

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020 年 2 月 8 日

事業所名：こどもサポート教室「まはり」富士宮校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令上十分なスペースを確保し、3つの部屋を状況により使い分けています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令上必要となる人数より1名以上多く配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	段差がありバリアフリーに対応できていないため、検討していきたいと思います。また整理整頓、物の配置を工夫して誰でも過ごしやすい環境にしていきたいと思います。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日ミーティングを行い、全職員が目標に対して現在の支援がどうであるか確認、提案できるようになっています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けアンケートを実施し、その結果を共有し改善について話し合っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページを開設し評価及び改善内容を公開しています。公開していることを周知できるよう努めていきたいと思います。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	まだ第三者評価は受けていないため、検討していきたいと思います。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に内部研修を行っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的に保護者様、利用者様と面談を行い、ニーズの把握に努めています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントとしてSDQを利用しています。適応行動に準拠した標準化アセスメントは取れていません。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			主担当の他複数人でチームを組み、プログラム検討を行っています。また、それぞれの得意分野を生かし、より良いプログラムにつなげていきたいと思います。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもの状態に合わせ変化させるとともに、研修に積極的に参加し、より多くのアイデアを取り入れています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			アセスメントをもとに、曜日により順番や取り組むものを設定しています。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			基本個別として支援計画を作成していますが、アセスメントをもとに集団が必要になる場合においては適宜組み合わせています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日ミーティング、朝礼を行い、情報を共有しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日ミーティング、報告会を行い、情報共有をしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録を全員が確認できるようにしています。記録をもとにOJTをより行えるようにしていきたいと思います。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に面談、アセスメントを取ることに より、計画の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	○			アセスメントをもとに、複数領域の計画を 立て支援を行っています。
関係機 関や 保護 者との 連携 関係機 関や 保護 者との 連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参 画しているか	○			児童発達支援管理責任者の他、必要に応 じて支援員も参加するようにしています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整 （送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適 切に行っているか	○			ケース会議や学校見学、学校との調整会 議を行い、情報の共有に努めています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、 子どもと主治医等と連絡体制を整えているか	○			現在該当する利用者様がおられません。 受け入れる場合には、主治医の意見を尊 重しながら、連携をとっていきたいと思いま す。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こど も園、児童発達支援事業所等との間で情報共有 と相互理解に努めているか	○			保護者様や相談支援事業所への聞き取り などをもって情報共有しています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ までの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			相談支援事業所を中心とした福祉事業所 の情報交換会、移行会議に出席し、情報提 供を行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センタ ー等の専門機関と連携し、助言や研修を受けてい るか	○			児童発達支援センター等への訪問、見学 を実施しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のな い子どもと活動する機会があるか	○			イベントなどを行い、地域の方も参加が可 能な機会を作っています。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加し ているか	○			児童発達支援責任者の他、必要に応じて 指導員も参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回の支援後に相談の時間を設け、保護 者様と共通理解を持てるよう話し合いをし ています。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		毎回の支援後に相談を受け、時間を設けてアドバイスを行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に書面とともに説明をしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		毎回の支援後のフィードバックの他、必要に応じて別時間を設けてアドバイスなどを行っております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者向けのイベントの案内をしています。しかし、当事業所で研修や座談会といった形で開催できていないため、今後検討していきたいと思っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		事業所に受付者・解決責任者を選任する等、苦情受付体制を整えるとともに、お問い合わせ窓口を設置しています。頂いた苦情に対しては、社内フォローを定め迅速かつ適切に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		会報は随時持ち帰れるようにしており、イベントは併せて掲示等で周知しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報を書かれた書類はすべて鍵付きのロッカーにて保管しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		ご利用者様、保護者様の状態に応じて、視覚的情報などを活用しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		イベントとしてどなたでも参加できる行事を行っています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。また、いつでもどなたでも閲覧できるようになっています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月1回の避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。また契約時に保護者様へ説明を行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		すべてのお子様についてアレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質を接触が起らないよう留意しております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例が怒った際には、マニュアルに沿って報告書を作成し、職員で共有しています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」富士宮校

保護者等数（児童数）：69 回収数：57 割合：82.6%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	96	4		広い空間でのびのびしています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	96	4		人員は十分だと思われる。 研修受講状況や職員教育などは不明。 職員の人数がもう少し多いと支援数が増えてありがたいです。 (現在利用されている方)にとっては最高です。 →より多くの研修を行い、専門性を高めていきたいと思います。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	54	39	7	入口に段差があるが、バリアフリーの必要性がないのでは？ 特に気にしたことがないのでわからない。 →人力での対処の他、必要に応じて簡易的なスロープを付ける等を検討していきたいと思います。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	95	5		
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	91	9		こちらの要望も常に取り入れてもらっていてありがたいです。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	36	38	26	今で十分です。 特に交流は希望していない。 →イベント等を通して誰でも参加できる機会を増やしていきたいと思います。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100			面談の時や変更がある時は説明していただいています。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	98	2		困っていることや疑問に対してすぐ対応してくださり感謝です。 計画的な面談など、いつでも問い合わせや相談ができて助かります。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	93	7		伸びている所やいい所をたくさん見つけてもらい励みになります。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	29	44	27	特に希望していない。 →保護者会などに関しては研修や座談会といった形で希望があった時に行っていきたいと思います。

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	73	27		今のところ苦情がないのでわからない。苦情対応していただいたことはないが、体制の説明は受けており、大丈夫かと思う。その都度迅速に対応してもらっています。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100			できている所、苦手な所など、的確に保護者に伝えてもらっています。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	54	37	9	ホームページを見る機会がない。他事業所はフェイスブックやインスタでの情報発信をされているので、そちらはフォローしているのでよく見る。 →ご意見ありがとうございます。ホームページ以外の情報発信について、本部の方へ意見を上げてみたいと思います。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	100			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	69	22	9	緊急時の避難所の学校は掲示してあるので知っている。 活動前に子どもが冬季には手洗い・うがいをしている。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	42	42	16	訓練に参加したことがないので、行っているか不明。 あまり気にしていなかったが、何が起こるかもわからないのでしっかりとした対応は親も含めしておかなければならないと思う。学校や地域で訓練が行われているので希望していない。 →月1回行っている避難訓練の周知をしていきたいと思います。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	91	9		自分の居場所と思って心から安心している様子。 下校時に「きりり、いきます」と自分でもいえるようになり、楽しみにしています。 嫌といったことがなく、先生に会うのを楽しみにしています。 自分の思いを人に伝えることが苦手ですが、先生方には心を開いている。 本人のその日の気分で行く気になっている時とそうでない日の差がある。 利用回数がまだ少ないので判断が難しい。 →たくさんのご意見ありがとうございます。 利用されている方にまた来たいと思っていただけるよう、内容を工夫していきたいと思っています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	96	4		支援してほしい子供が多くて、日時などの希望が合わない。 できれば日数か時間を増やして頂きたい。 毎週じっくり向き合って支援していただいています。

			<p>無理せず自分でやる気持ちを引き出してもらい集中できるようになっています。</p> <p>常に相談しやすい環境にあり、安心してきます。</p> <p>マンツーマンなのでコミュニケーションの面でもみっちり支援していただけているので、心の成長にもつながっていると思います。</p> <p>こどもの能力や体調に合わせて無理させないでくれるので安心です。</p> <p>親子共々よくしてもらっています。</p> <p>高校卒業まであと少しですが、支援がなくなることが心細いです。今後相談できる場所等情報を教えてほしいです。</p> <p>→たくさんのご意見ありがとうございます。</p> <p>そして日数等ご希望と合わない方、大変ご迷惑をおかけして申し訳ございません。現状や今回頂いたご意見を本部へ伝え、事業所のみではなく、会社全体としての課題としてとらえ、改善できるよう努めてまいります。</p>
--	--	--	---

※各項目の有効回答数に対する割合で表示しています。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。